

事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大が社会全体に悪影響をもたらし、当会においても厳しい制約がある中での活動となった。

当会の主要事業である「語り座 大原本邸」においては一時休館も余儀なくされたが、収益面も考慮した結果、感染防止対策を徹底した上で再開館し、来館者への大原家の紹介を継続した。

また毎年多くの聴衆者の集まる「大原孫三郎・総一郎記念講演会」、「語り座 大原本邸」での特別展は中止せざるを得なかったが、「くらしき未来K塾」や「大原総一郎日記研究会」は参加者を限定し、またネットも活用して開催を継続し、大原家の理念の普及、研究を図った。

財務面では「語り座 大原本邸」の入館料等の事業収益が9,377千円（前年比△10,207千円）と大幅に減少した一方で、国の持続化給付金2,000千円、雇用調整助成金13,513千円等の補助金受給し、指定正味財産からの振替（10,734千円）前の経常収益は56,212千円（前年比△14,516千円）となった。なお当期の前期比経常収益減少の内、△20,000千円は前期に一時的な寄付金があったことによる。

経常費用は閉館に伴い光熱費、清掃費等が減少し、また経費の削減に努め、その他固定資産税2,933千円の支払繰延措置を受けた結果、前年から15,136千円減少し66,946千円（除、減価償却費45,044千円）となった。

当期のCFは約11百万円を確保し、当期末正味財産は36,518千円（前期比△10,734千円）となっている。

主な活動は以下のとおり

1. 語り座 大原本邸事業

(1) 入館者数、入館料収入

<入館者数（有料）>

(人)

合計	一般		高校生以下	
	個人	団体	個人	団体
16,670	15,883	172	388	227

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月16日には岡山県下にも緊急事態宣言が発出された。感染防止のため不要不急の外出、県を跨いだ移動の自粛が求められる中、「語らい座 大原本邸」も4月19日から臨時休館とした。

緊急事態宣言の解除後、感染防止策をとった上、部分公開を経て、8月2日より通常公開を再開した。大原美術館への来館者に対し当館割引券を配布するなど、来館者増加に向けて努力し、11月には国の Goto トラベルキャンペーンにも押され、過去最高の入館者数となるなど一時的には回復の兆しが見られた。

しかしながら12月以降、新型コロナウイルス感染症は再拡大し、首都圏、関西圏を中心に緊急事態宣言や蔓延防止措置等の発出・解除が繰り返される中、倉敷美観地区への来訪者、当館への来館者も再び激減することとなった。

結果、当期入館者数は16,670人（前期比△15,470人、51.9%）、入館料収入は7,599千円（同13,361千円、48.6%）、カフェ収入は1,643千円（同△2,955千円、47.5%）となった。

(2) くらしき未来K塾

「教育」を重視する大原家の理念に基づき、「未来を育てる人材の育成」を目的した「くらしき未来K塾」については継続して開催した。

感染症予防のため参加者を制限し、今後の新たな展開も視野に会場とネットでの同時開催とした。

なお、一部の回(下表*印)はより多くの方に参加いただけるよう、また開催経費にも配意し、倉敷市のキャリア教育指導者育成事業（「高梁川流域未来キャリア教育セミナー」）として実施した。

<くらしき未来K塾 開催状況>

回	開催日	テーマ（演題）	講師	参加人数
第12回	4/25	「忠臣蔵の決算書」追悼 Booksession	山本博文 東京大学資料編纂所教授	18
第13回	5/23	若手官僚との websession 「不安な個人・立ちすくむ国家」	宇野雄哉 経済産業省内閣官房 まち・ひと・しごと 創生本部事務局 ビッグデータチーム主査	35
*第14回	6/27	「地域協働による高校魅力化が 1 作」①	江森真矢子 元リクルート編集者	27
*第15回	7/25	「キーワードから読み解く SDGs」	吉川幸 岡山大学 地域総合研究センター准教授	30

第16回	8/22	「江戸・明治の職人矜持 ～大原邸建築・建具に学ぶ～」	佐多時信 （株）佐田建美取締役社長	12
* 第17回	9/26	「with コロナ、ポストコロナ社会での学 習指導要領の活かし方」	合田哲雄 文部科学省 科学技術・学術総括官	36
第18回	10/24	若手官僚との websession 「不安な個人・立ちすくむ国家」	宇野雄哉 経済産業省内閣官房 まち・ひと・しごと 創生本部事務局 ビッグデータチーム主査	39
* 第19回	11/28	「地域協働による高校魅力化がト」②	江森真矢子 元リクルート編集者	15
* 第20回	12/26	「地域と教育 振り返り・交流」	山崎好美 岡山県健康の森 教諭 外	21
第21回	2/13	「人生は60歳からがおもしろい!!」	大江英樹 文筆業・エコノミスト	15

(3) 特別展

「大原総一郎展」外、大原家を紹介する4回の特別展の開催を予定していたが、感染症の予防、また入館料収入が激減する中で経費削減の必要性もあり、開催を中止した。

2. 大原孫三郎・総一郎記念講演会

次のとおり「第65回大原孫三郎・総一郎記念講演会」、および講師と高校生のセッションを予定していたが、感染症防止のため中止せざるを得なかった。

（予定していた後援会）

開催日時 2020.7.21(火) 18:30~20:00

開催場所 倉敷公民館大ホール

講師 山極 壽一氏（京都大学総長）

3. 所蔵資料の整理、調査、研究及び公開

大原家が所蔵している大原孫三郎・総一郎に関する書簡・書籍など諸資料の分類整理を継続的に行っている。

本年度は新型コロナウイルス感染予防策として、研究員、アルバイトの出勤停止を行ったことから、その整理数は380件と昨年度の2,700件から大幅に減少した。

4. 大原總一郎日記研究会

国土館大学教授阿部武司氏を中心とする 7 名の研究者グループにより、大原總一郎日記（全 100 冊）の研究を継続している。本年度はこれまでの研究成果を含め、仮翻刻 大原總一郎日記 第 2 冊(日記 No,4~7)、第 3 冊(日記 No,8~12)の 2 冊を製本、刊行した。
なお、本年度の研究会開催 4 回の内、3 回をネット開催としている。

* 事業報告の附属明細書はありません。

以上

貸借対照表

2021年3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,700,252	6,269,865	11,430,387
売掛金	1,700	1,700	0
商品	103,680	35,942	67,738
前払費用	80,000	80,000	0
流動資産合計	17,885,632	6,387,507	11,498,125
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(基本財産)	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	126,433,160	133,180,173	△ 6,747,013
建物附属設備	62,547,210	69,545,477	△ 6,998,267
構築物	6,128,331	6,773,674	△ 645,343
機械及び装置	1,459,468	2,188,107	△ 728,639
器具及び備品	19,978,454	26,641,063	△ 6,662,609
商標権	657,776	751,744	△ 93,968
ソフトウェア	66,960	92,880	△ 25,920
その他固定資産合計	217,271,359	239,173,118	△ 21,901,759
固定資産合計	220,271,359	242,173,118	△ 21,901,759
資産合計	238,156,991	248,560,625	△ 10,403,634
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	183,181	217,873	△ 34,692
預り金	144,458	190,803	△ 46,345
未払消費税	411,400	0	411,400
流動負債合計	739,039	408,676	330,363
2. 固定負債			
長期借入金	200,900,000	200,900,000	0
固定負債合計	200,900,000	200,900,000	0
負債合計	201,639,039	201,308,676	330,363
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	33,371,166	44,105,163	△ 10,733,997
指定正味財産合計	36,371,166	47,105,163	△ 10,733,997
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	146,786	146,786	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	36,517,952	47,251,949	△ 10,733,997
負債及び正味財産合計	238,156,991	248,560,625	△ 10,403,634

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

公益財団法人 有隣会

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,390,000	4,590,000	△ 200,000
特別会費	3,800,000	4,000,000	△ 200,000
普通会費	200,000	200,000	0
賛助会費	390,000	390,000	0
事業収益	9,377,390	19,584,320	△ 10,206,930
受取入館料	7,598,990	15,647,920	△ 8,048,930
記念館事業収益	1,778,400	3,936,400	△ 2,158,000
受取補助金等	26,547,069	18,015,454	8,531,615
受取寄附金	26,600,000	46,543,885	△ 19,943,885
雑収益	31,620	8,500	23,120
受取利息	384	395	△ 11
経常収益計	66,946,463	88,742,554	△ 21,796,091
(2) 経常費用			
事業費	63,831,566	78,394,944	△ 14,563,378
人件費	31,545,805	33,478,919	△ 1,933,114
法定福利費	3,158,946	3,012,086	146,860
福利厚生費	1,139,354	970,976	168,378
材料仕入	506,399	901,220	△ 394,821
水光熱費	941,797	1,475,353	△ 533,556
清掃費	726,107	1,077,970	△ 351,863
修繕費	0	320,348	△ 320,348
諸謝金	11,137	260,507	△ 249,370
旅費交通費	127,866	732,475	△ 604,609
通信運搬費	492,554	581,741	△ 89,187
印刷製本費	387,319	636,346	△ 249,027
広報費	226,100	1,061,207	△ 835,107
賃借料	540,000	638,610	△ 98,610
リース料	953,208	1,045,636	△ 92,428
調査費	0	300,000	△ 300,000
消耗品費	492,454	862,688	△ 370,234
諸会費	30,000	70,000	△ 40,000
租税公課	411,400	3,522,800	△ 3,111,400
保険料	19,860	19,710	150
手数料	185,680	216,182	△ 30,502
雑費	9,580	9,910	△ 8,480
減価償却費	21,901,759	26,854,127	△ 4,952,368
会場関係費	22,945	121,515	△ 98,570
接遇費	1,296	224,618	△ 223,322
管理費	3,114,897	3,686,878	△ 571,981
通信運搬費	237,573	256,442	△ 18,869
会議費	11,316	9,152	2,164
消耗品費	43,230	317,520	△ 274,290
租税公課	1,580	2,060	△ 480
手数料	770	874	△ 104
雑費	811,430	874,343	△ 62,913
支払利息	2,008,998	2,226,487	△ 217,489
経常費用計	66,946,463	82,081,822	△ 15,135,359
評価損益等調整前当期経常増減額	0	6,660,732	△ 6,660,732
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	6,660,732	△ 6,660,732
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産除却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
過年度遊及特別損失	0	6,660,732	△ 6,660,732
経常外費用計	0	6,660,732	△ 6,660,732
当期経常外増減額	0	△ 6,660,732	6,660,732
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	146,786	146,786	0
一般正味財産期末残高	146,786	146,786	0
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	△ 10,733,997	△ 18,015,454	7,281,457
受取国庫補助金	△ 10,733,997	△ 18,015,454	7,281,457
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取配当金	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 10,733,997	△ 18,015,454	7,281,457
指定正味財産期首残高	47,105,163	65,120,617	△ 18,015,454
指定正味財産期末残高	36,371,166	47,105,163	△ 10,733,997
III 正味財産期末残高	36,517,952	47,251,949	△ 10,733,997

財産目録

2021年3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金		運転資金	322,833
	預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	7,734,811
		普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	9,642,608
	売掛金		入館料等	1,700
	商品		珈琲豆等	103,680
	前払費用			80,000
流動資産合計				17,885,632
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金(基本財産)	定期預金 中国銀行倉敷駅前支店	公益目的保有財産で、運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産				
	建物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	126,433,160
	建物附属設備	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	62,547,210
	構築物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	6,128,331
	機械及び装置	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	1,459,468
	器具及び備品	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示等の事業施設に供している。	19,978,454
	商標権		公益目的保有財産	657,776
	ソフトウェア		公益目的保有財産	66,960
固定資産合計				220,271,359
資産合計				238,156,991
(流動負債)				
	買掛金		公益目的事業を行うために必要な諸経費に対する未払金	183,181
	預り金		源泉所得税、社会保険料等	144,458
	未払消費税			411,400
流動負債合計				739,039
(固定負債)				
	長期借入金	個人より借入	記念館事業における設備投資の為	200,900,000
固定負債合計				200,900,000
負債合計				201,639,039
正味財産				36,517,952

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物、建物附属設備、構築物は定額法によっている。

上記以外の有形固定資産は定率法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
合 計	3,000,000	3,000,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
(直説法により減価償却を行っている場合)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	146,674,199	20,241,039	126,433,160
建物附属設備	83,542,011	20,994,801	62,547,210
構築物	8,064,360	1,936,029	6,128,331
機械及び装置	4,918,320	3,458,852	1,459,468
器具及び備品	49,226,950	29,248,496	19,978,454
無形固定資産	4,957,280	4,232,544	724,736
合 計	297,383,120	80,111,761	217,271,359

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

該当なし。

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

記念館事業に対する国庫補助金のうち10,733,997円を一般正味財産に振替。

14. 関連当事者との取引の内容

属性	氏名	取引内容	勘定科目	取引金額	金利
評議員	大原謙一郎	資金の借入	長期借入金	200,900,000	元金の1%

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当なし。

16. 重要な後発事象
該当なし。

17. その他

財務諸表に対する注記に同様の記載があるため、計算書類の附属明細書の記載を省略している。